

秦野市環境基本計画（第3次計画） 事務概要について

作業期間：令和元(2019)年8月 — 令和3(2021)年3月

施行期間：令和3(2021)年4月 — 令和13(2030)年3月

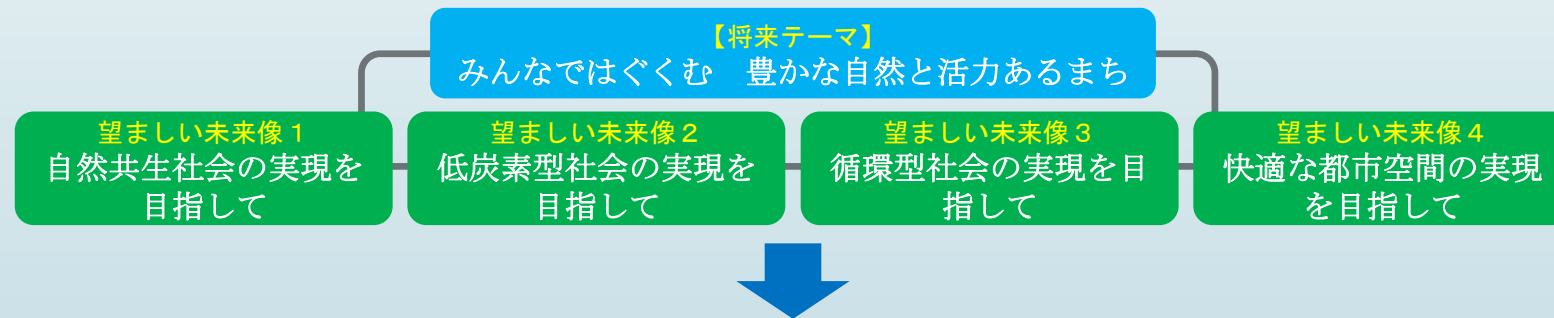
令和元年8月6日

秦野市環境産業部環境共生課

1. 計画の目的

- **第1次計画(平成12年3月)**・・・本市の恵みある自然を守り、地域の環境問題に責任を持って対処するため、地球規模に及ぶ環境への影響を視野に入れ、市民・事業者・各種団体等が一体となって秦野の環境を後世に継承していくことを目的に策定。
- **第2次計画(平成23年3月)**・・・第1次計画策定時に比べ、温室効果ガス排出の大幅な削減や生物多様性の確保、また、第1次産業から第3次産業まで広く環境にかかわる事業活動が注目され、産業構造の変化に対応した総合的な環境施策が重要となったことから、身近な生活環境から自然環境、地球規模の環境問題を視野に入れたまちづくりを目指すため策定。

※第2次計画策定後の自然的・社会的状況の変化に対応するため同計画を中間改定するとともに、秦野市地球温暖化防止対策実行計画を組み込んだ「秦野市環境基本計画（第2次計画）後期基本計画」を策定。（平成28年3月）



- **第3次計画(令和3年3月[予定])**・・・第2次計画を総括するとともに、新たに、①SDGsへの寄与、②気候変動への適応、③脱炭素社会・地域循環共生圏の構築、④関連する各種計画等との連携を着眼のポイントとし、実行可能な範囲及び規模を見極め取り入れていけるよう、国内外における地球環境への取組みを注視しながら策定するものとします。

2. 着眼ポイント

SDGs
への貢献

脱炭素社
会・地域
循環共生
圏の構築

国連サミットにて採択（2015年）

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」
に記載された、2016年から2030年までの国
際目標。

★17のゴールと169のターゲットで構成



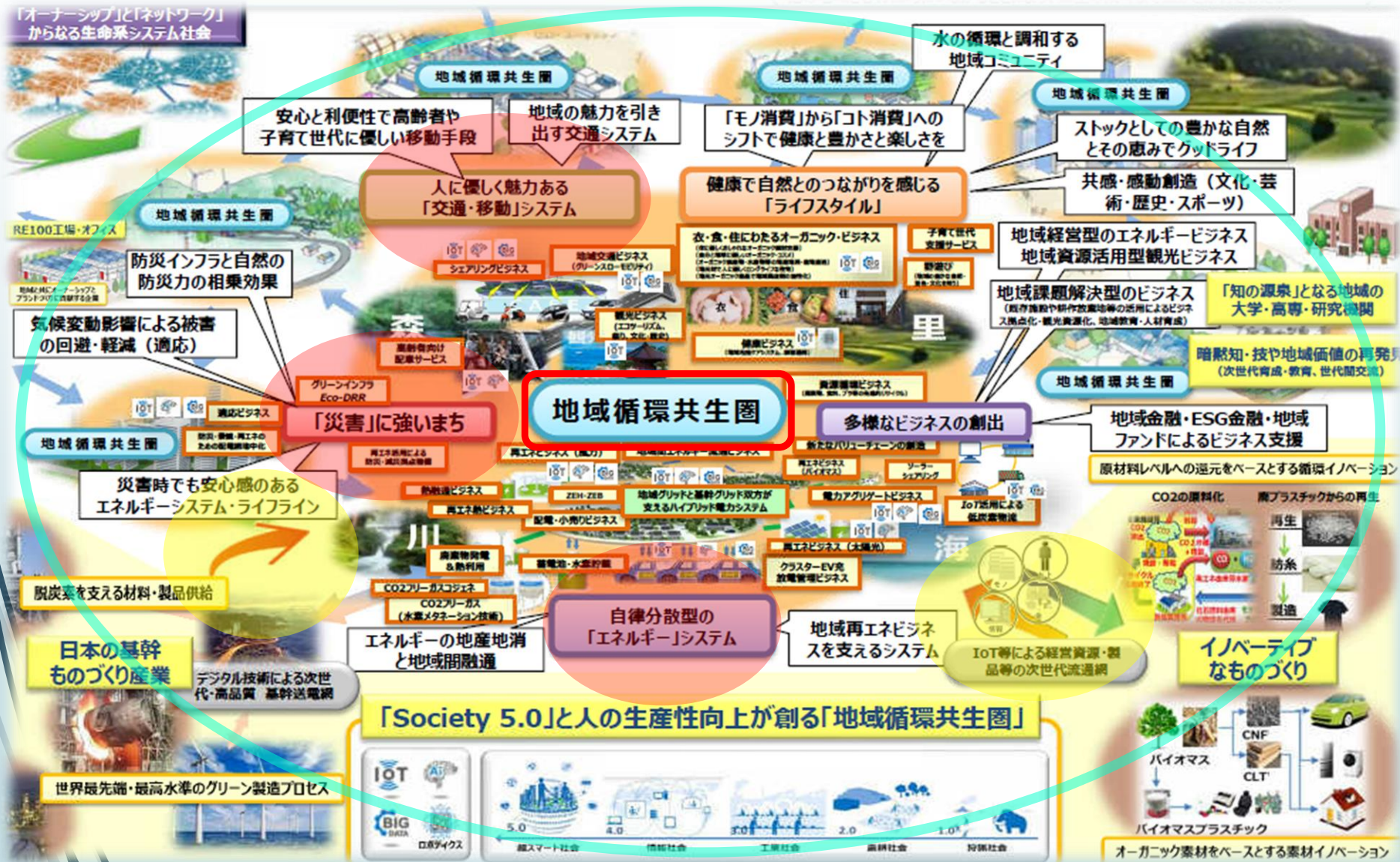
第5次環境基本計画（2018年）

地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏」の考え方を新たに提唱。

第5次エネルギー基本計画（2018年）

2030年に向けたエネルギーミックスの実現、2050年に向けた脱炭素化への挑
戦を明記。

【参考】地域循環共生圏



自立分散
【オーナーシップ】



相互連携
【ネットワーク】



循環・共生
【サステナブル】



秦野版SDGsの
実現を検討する。

2. 着眼ポイント

SDGs
への貢献

脱炭素社会・地域
循環共生圏の構築

関連する
各種計画
等との連携

気候変動
への適応
による、
環境対策

国連サミットにて採択（2015年）

「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2016年から2030年までの国際目標。

★17のゴールと169のターゲットで構成



第5次環境基本計画（2018年）

地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏」の考え方を新たに提唱。

第5次エネルギー基本計画（2018年）

2030年に向けたエネルギーミックスの実現、2050年に向けた脱炭素化への挑戦を明記。



気候変動適応法の制定（2018年）

気候変動対策の緩和策と適応策は、いわば車の両輪の関係。

これまでの「地球温暖化対策推進法」と「気候変動適応法」の二つを礎に、気候変動対策（激甚災害等への環境的側面からのアプローチ）を推進。

秦野市総合計画の策定（2021年～）

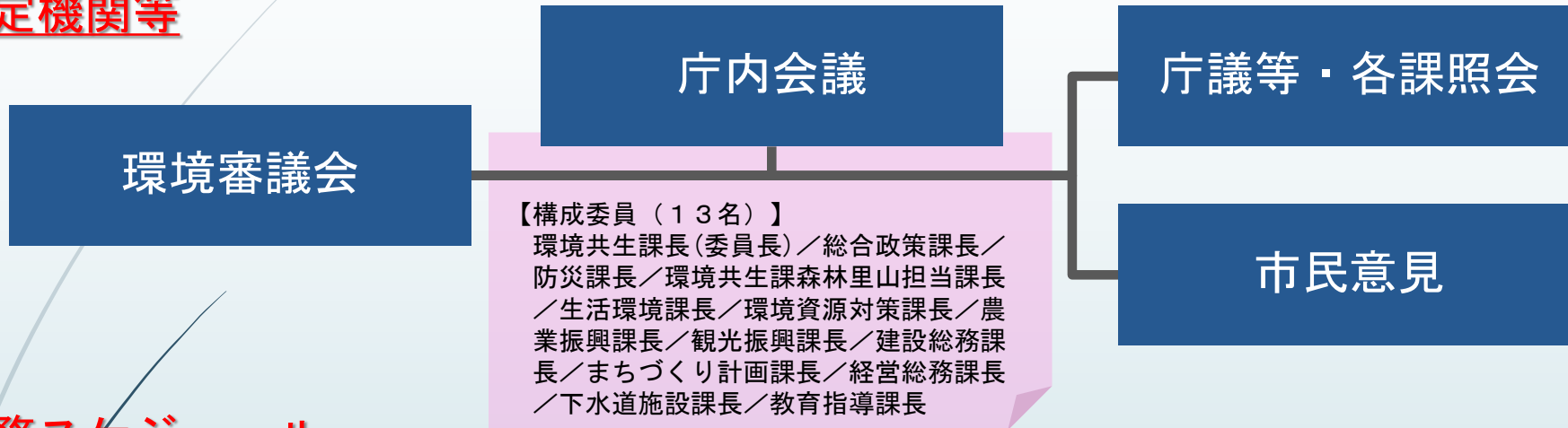
総合的かつ計画的なまちづくりを推進するため策定。最上位計画として、連携を強化させる。

その他、関連する計画との連携

環境を視点とした取組みに注視しながら連携を図る。

3. 策定機関等及び事務スケジュール

① 策定機関等



② 事務スケジュール

	令和元年度									令和2年度											
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
環境審議会	■			▲				■			▲			■			■				★
市内会議		●					(●)								●						
庁議等・各課照会		●					●								●					庁	
市民意見				●W								●W								●P	

■・・・通常会議 / ★・・・通常会議（諮問・答申） / ▲・・・中間報告及び意見聴取（書面等） / W・・・ウェブアンケート / P・・・パブコメ / 庁・・・部長会議・議員連絡会